

岩手県教育委員会教育長 佐藤 博 様  
教育委員 各位

2022年9月2日  
日本共産党岩手県議団  
齊藤 信  
高田一郎  
千田美津子  
岩手町議員団  
田村 正  
伊藤正信

## 県立沼宮内高校の学級減の計画の見直しを求める申し入れ

県教委は8月2日の県議会文教委員会に、「令和5年度 県立学校の編成等について」の計画を示しました。この中で、県立沼宮内高校を2学級から1学級にする計画を示したことは重大です。

昨年5月に策定された高校再編後期計画では、後期計画最終案の考え方（昨年3月）として「盛岡への一極集中の解消を図る必要がある」として、進学希望が多く特色のある盛岡南高校と不来方高校の統合が関係者の反対の声を無視して強行されました。高校再編計画後期計画では、盛岡ブロックの「再編の方向」として「地域を支える人材の育成など、地方創生において重要な役割を担う1学級校及び1学年2学級の学校については、できる限り維持しつつ、入学者の状況や地域の実情等を踏まえながら、その在り方を検討します」と明記しています。

今回示された来年度の「県立学校の編成等について」では、統合が決められた盛岡南高校と不来方高校の各1学級減も提起されています。盛岡一極集中の是正措置の効果はこれから出てくるのであり、その前に周辺校である沼宮内高校の学級減を行うことは、高校再編計画後期計画の考え方、基本方向に反するものといわなければなりません。

県立沼宮内高校では、入学者が減少しているものの、2学級規模のもとで進学、就職のそれぞれのコースをつくり指導しています。進学コースでは、4年制大学等をめざすコースと専門学校等をめざすコースへのきめ細かな指導もされています。部活動では、ホッケー男子は県高総体で12連覇を果たすとともに今年のインターハイでもベスト8に入る成績を上げています。不来方高校との切磋琢磨の効果も大きなものがあります。町内の中学校からの進学率向上めざして、「沼高通信」を発行して町内の中学生に沼高の取り組みや生徒の活躍ぶりを届けています。

岩手町では、県立沼宮内高校の魅力化をまちづくりの重要課題に位置付けて、今年度1559万円の予算を組み、岩手町公営塾を今年5月から開講し、2年生6人が参加しています。教育振興会への700万円の補助を活用し通学費や給食費への補助も実施しています。今年度から実施された県外からの留学生受け入れでは3人が入学しています。

岩手町が、本格的に県立沼宮内高校の魅力化事業に取り組もうとしている矢先に、県教委が学級減を強行することは、高校再編計画の理念と基本方向に反するとともに、地方創生の取り組みにも反するものです。

10月の教育委員会議で、令和5年度の「県立学校の編成等について」は、協議され決定される予定となっていますが、高校再編計画後期計画の理念と基本方向、盛岡一極集中と周辺校の維持・拡充、県立沼宮内高校の取り組みと岩手町の本格的な沼宮内高校魅力化の取り組みを踏まえて慎重に検討され、県立沼宮内高校の学級減の計画を見直すよう強く求めます。

以 上